

## 「第20回スポーツ環境会議」議事録（要旨）

令和5年4月26日（水）14:00～16:00

本庁舎6階 第2委員会室

### 1 出席者

1	岡 浩一朗（学識経験者）	11	高橋 美由紀（生涯学習スポーツ課長）
2	橋本 純（区スポーツ推進委員協議会）	12	神崎 章（新宿未来創造財団等担当課長）
3	金子 和子（区レクリエーション協会）	13	渡辺 隆介（障害者福祉課長）
4	田中 稔（区町会連合会）	14	袴田 雅夫（地域包括ケア推進課長）
5	藤原 千里（区障害者団体連絡協議会）	15	徳永 創（子ども家庭課長）
6	藤塚 利男（区青少年育成委員会）	16	向 隆志（健康政策課長）
7	武内 隆則（区小学校PTA連合会）	17	小菅 健嗣（みどり公園課長）
8	石原 留理（区中学校PTA協議会）	18	齊藤 正之（教育調整課長）
9	下村 扶美子（公募委員）	19	林 政至（教育支援課教育活動支援係長）
10	西谷 毅（スポーツ関連事業者）		

### 欠席者 4名

今泉 清隆（区体育協会）

村上 光一（区高齢者クラブ連合会）

南 滋文（公募委員）

加賀美 秋彦（新宿未来創造財団事務局長）

### 机上配付資料

資料1 スポーツ環境会議設置要綱

資料2 スポーツ環境会議委員名簿

資料3 令和5年度 部活動指導員配置需要・配置状況一覧（教育支援課からの情報提供）

資料4-1 新宿区スポーツ環境整備方針について

4-2 （国）スポーツ基本計画・（都）スポーツ推進総合計画 概要

資料5-1 新宿区スポーツ環境整備方針の改定について

5-2 新宿区スポーツ環境整備方針改定スケジュール

資料6-1 令和5年度新宿区スポーツ環境調査（前回との比較）

6-2 令和5年度新宿区スポーツ環境調査概要

6-3 【参考】平成22年度新宿区スポーツ環境調査 調査票

## 2 事務局

新宿区 地域振興部 生涯学習スポーツ課

## 3 会議内容

### (1) 開会

### (2) 地域振興部長あいさつ

本日はお忙しい中、また大変足元の悪い中、参加いただき感謝申し上げます。本会議は、皆様方から貴重なご意見、ご提案等を賜り、新宿区のスポーツ環境を推進して行くことを目的に設置された会議である。新宿区スポーツ環境整備方針は、平成25年（2013年）に策定され10年が経過している。この間、区民の方々がスポーツをする環境は大きく変化しており、より多くの区民の皆様が、スポーツを楽しんで人生を豊かにしていただけるような取り組みを少しでも多くできるように本方針の改定をしたいと思っている。それにあたり令和5年度については、スポーツ環境整備方針の改定に向けた調査を実施する。皆様方の忌憚のないご意見、またご要望等があれば、活かして行きたい。令和6年の方針の策定まで宜しくお願い申し上げます。

### (3) 委員自己紹介・座長の選出

金子委員が座長に選出された。

### (4) スポーツ環境や活動に関する現状報告及び意見交換（要旨）

#### ア 各団体・委員からの報告（報告のある団体・委員のみ）

##### ・区スポーツ推進委員協議会

スポーツ推進委員協議会では3月12日に小学生ボッチャ大会のプレ大会を初めて自主事業で実施した。参加チーム上限は20チーム目標だったところ、8チームの参加をいただき、無事に開催することができた。パラリンピックのレガシーということでも開催した。また8月に、第一回小学生ボッチャ大会も予定しており、また改めてご案内させていただく。次回はさらに参加者も増えるようにしていきたい。また、4月1日のレガス祭りでは、体力測定とボッチャを行った。コロナ前に比べて若干参加者は減ったが、体力測定は270人程度、ボッチャは160人程度で、延べ430人程度参加いただいた。コロナ渦で体力が低下した方などもおり、運動する必要性を改めて感じた。これからも各地域で活動を広げていくのでご参加いただきたい。

##### ・区障害者団体連絡協議会

障害者団体連絡協議会では4月9日にクリアソン新宿の新国立競技場での試合に、車椅子団体席を確保して頂き、参加させていただいた。昨年から2回目であったが、障害の重い方から軽い方まで家族と一緒にスポーツ観戦できたことは、本当に貴重な経験であった。特に在宅で自宅からなかなか出ることが難しいお子さんもきちんと駐車場を確保していただいたおかげで、公共交通機関での感染のリスクも避けながら観戦できたことは本当に大きかった。コロナ以前は、障害の重い子どもたちにとってスポーツという概念自体が無いに等しい状況であったが、クリアソン新宿を媒体にして、地域の方と繋がりな

がら、新国立競技場というメジャーな施設で地元感がある中で観戦できたことは大きな経験だと思っている。これからも継続してこういった機会をたくさん作っていききたいと思う。

#### ・区中学校 PTA 協議会

東京都の中体連テニス大会の観戦をしてきた中で、中学校の部活動、大会のあり方に関しての事例があったので皆様のご意見をいただきたい。この大会は、全国大会の出場者を決めるため、エリアごとに分割し行われた大会で、会場はテニスコート 10 面ある学校において開催された。該当のブロックは 18 校約 160 名の女子生徒が参加した。WBC に日本中が感動した 1 か月後に、その会場ではまさかの拍手を含む応援の一切禁止が主催者から宣言されていた。応援は、自校だけでなく、相手校へのエールにもつながる貴重な実体験になるものであり、応援の禁止は私自身も違和感があり、疑問をつぶやく子ども達もいた。会場は、大通りに面しており、近隣の住宅からも離れているため、当該ブロックの運営側に理由を聞くと、「理由はない。保護者からの一切の質問は受け付けない。」というだけで明確な回答はもらえなかった。新宿区スポーツ環境整備方針において、「スポーツの力で新宿の街を元気に」と掲げているとおり、スポーツを通して人と人の繋がりが生まれ、WBC で皆さんも経験した様に、観戦や応援、拍手をしたり、一体感ができたと思う。本来、応援することも子ども達にとっては大切な実体験の一つであり、特にマスク着用の制限が緩和されたタイミングで、テニス大会での拍手を含む応援禁止は、正当な理由が見当たらないと感じた。むしろ、仲間意識や相手の思いやりを育むうえでも貴重な体験を奪われているのではないかと考えている。大会の運営側には、社会環境の変化等にあわせて、柔軟な対応を求めたい。

また、新宿区や近隣地区ではスポーツ活動の限界があることから、他地域のスクールに通ったり、他大会に参加している家庭もある。また、新宿区から住居を移転したり、競技自体を諦めるという大きな決断をされている家庭も見受けられる。適切なスポーツ推進を行うためにも、一部の学校、生徒のみが競技技術の勝敗のみを競うのではなく、人と人をつなぐ心と体の健康を推進すべく、皆様のご意見を頂きたい。

#### ・学識経験者コメント

それぞれの団体が、スポーツ振興に取り組んでいることが分かり、まさに新宿をスポーツで元気にするという取り組みの精神につながっていると感じた。障害を持った方にとっては、スポーツに関わることが難しい部分もあるかと思うが、そうやって「みる」ことからスポーツに関わって、まさに応援するという機会を得ているということは、新宿区の多様性の具現化が実現できているようで安心した。今の中体連の応援禁止に関しては、やはり根本的なところから応援の仕方の議論はしていくべきなのではないかと委員としても思う。するスポーツ、みるスポーツがあるように、応援というのは、やる側の人間の本当に力にもなると思うし、応援する側もいつも一生懸命やっているわけですから、こういう問題が起こったからこそ、議論をしていく機会を持っていけばいいかと思う。

### イ 行政からの報告（報告のある委員のみ）

#### ・生涯学習スポーツ課

令和 5 年度のスポーツ環境調査の実施について。これについては、後ほど事務局からご説明させてい

ただ、また、今年度はパラスポーツの体験イベントを3回実施する予定である。第1回目は7月23日に車椅子ハンドボールの体験会を実施する。場所はコスミックスポーツセンター。これは、全国大会が開催されるのに合わせて体験会を開催する。この他、ゴールボールやブラインドサッカーなどの体験会を検討している。詳細が決まり次第、区ホームページや広報、また本会議のタイミングも合えば、お知らせさせていただく。地域において参加への周知等々のご協力をお願いしたい。

#### ・教育支援課

前年度のスポーツ環境会議でもご案内させていただいたが、部活動に対して令和元年度から会計年度任用職員を採用し、各学校の活動を支援してきた。しかし、学校の要望する指導者と応募してくる指導者の、お互いの要望がなかなか合わない、また、部活動指導となると夕方の2時間とか、休日の3、4時間というところで、一つの仕事として生活が成り立たないというところもあり、指導者がなかなか定着しない等の課題があった。そこで、昨年度に「民間提案制度」を活用し、これらの課題の解決に向け検討を行った。この民間提案制度というのは、区政が抱えているさまざまな行政課題に対して行政だけでは解決できない事柄を、民間のアイデアや提案をいただきながら解決していこうという制度で、検討の結果、事業者からいただいた提案を基に、今年の1月に、令和5年度から部活動指導員の配置業務を一部委託するという方向で事業者の選定を行った。4月1日から準備をし、5月中旬以降から順次、指導が始められるよう進めている。本日配布の資料3「令和5年度部活動指導員配置需要・配置状況一覧」のとおり、全校で44部活動から配置の要望をいただき、配置状況は全体で32部活動となっている。このうち配置できなかった部活動は、「配置の要望をしたが、教員の異動等で不要になった」など、各校とヒアリングを行い、調整をさせていただきながら、優先順位の高いところから配置を決定していくというやり方で、結果的に32部活動ということで、今スタートしている。一部、指導員がはっきりと決まっていなかったところもあるが、5月中には確定し、しっかりと指導支援ができるように、今進めさせていただいている。

#### ウ 質疑応答

##### 【区中学校 PTA 協議会】

部活動の民間委託について、実施に対しての検証やフィードバックはどのように行っているのか。

##### 【教育支援課】

毎月実施報告書を提出してもらい、それに基づいて履行確認をさせていただく。また、会計年度任用職員として直接採用している職員が3名（現在は2名）ほどいるが、総括的な立場の部活動指導員として、委託事業者との連絡調整や、各学校への巡回指導、確認等をしていながら、区としても定期的に正しく履行されているかどうかの確認をする。また、来年度に向け、今年一年間の業務評価を実施させていただく予定である。年度末になるかと思うが、そういった準備を進めながら、しっかりと管理をしていきたいと考えている。

##### 【区中学校 PTA 協議会】

中体連の部活動の大会の応援に関して、岡委員より、議論していったらよいのではないかという話が

あったが、この議論をしていくにあたり、進め方としてどのような順序でやっていくのがいいか、ご教示いただきたい。

#### 【学識経験者】

私自身、新宿区の仕組みが分からないので、こうすれば良いという細かな具体的な例を並べることはできないが、やはり世の中自体が声を出しての応援や拍手をすることに対して、禁止されているわけでもないのに、大会の応援ルールを決めているところと、根気よく、ディスカッションして行く必要があるように思う。

#### 【区スポーツ推進委員協議会】

先ほどの中体連の話で、応援禁止ということは、大会当日に通知されたのか、大会前に事前に聞いていたのか。

#### 【区中学校 PTA 協議会】

当日の朝に、大会要項として配布されたものに、拍手声援等の応援は一切禁止という記載があり、その日までは全くわからない状況。

#### 【区スポーツ推進委員協議会】

事前に運営側から、禁止事項等を記載した大会要項などを作成して、事前に通知があれば、事前に議論する機会もあったし、なぜ応援ができないのかしっかり説明するタイミングもあったはずであり、すごく残念だなと思った。大会を楽しく運営する、参加者も応援する人も、楽しくできるようにする方法があるのではないかと思った。

#### 【区中学校 PTA 協議会】

学校の硬式テニス部のことであるため、校長先生にはこれからご相談していくところではあるが、やはり大会に参加した子どもたちの意見も踏まえて、意見提出書をご提出してもいいのかと考えている。お話を伺えてよかった。

### （５）スポーツ環境整備方針の改定について 次第４

・生涯学習スポーツ課より資料説明 資料４～６

#### 質疑応答

#### 【区青少年育成委員会】

スポーツをするうえでの安全面についてはどのように考えているか。

#### 【生涯学習スポーツ課】

安全面は非常に重要と考えている。スポーツ環境整備方針では、施策１「多様な利用者に配慮した施設の機能充実」が該当する。区ではスポーツ施設をいくつか保有しているが、毎年必要な整備を行って

おり、特に、安全に関わる部分については優先度を高くしている。今後改定するスポーツ環境整備方針の中でも、施設の安全について、そして実際に活動の中での安全配慮についても考えていかななくてはならないと思っている。

#### 【区青少年育成委員会】

青少年育成委員会では、校庭や体育館でスポーツ大会を実施するが、これから夏の時期になると、熱中症という問題が出てくる。よくニュースでも熱中症で倒れて救急搬送されるという事案も聞くと思うが、現実としてどのぐらいの気温までなら安全な状況なのかというのは、おそらく各団体自己判断でやっていると思う。これについてはガイドラインなり基本方針を新宿区として出していただくことは難しいか。

#### 【生涯学習スポーツ課】

新宿区のガイドラインというよりも日本スポーツ協会（以下「JSP0」。）の方から出しているガイドラインがあり、気温や湿度等の基準により、スポーツはやめたほうが良いというレベルや注意した方が良いというレベルなどが示されている。JSP0のガイドラインに沿った運営をしていただければと思う。

#### 【区青少年育成委員会】

私たちは新宿区の看板を背負って事業をしているため、新宿区としての基準を出していただけると、私達も心強く活動ができると思う。例えばコミュニティ保険には各団体、小学校、中学校のコミュニティ、私たちの青少年育成会も入っているが、実際小額である。保護者や子どもが怪我をしても、納得できる料金ではない。こういった点についても、今後新宿区としてガイドラインを作っていただき、新宿区としてバックアップをしていただければと思う。

#### 【生涯学習スポーツ課】

JSP0のガイドラインも様々な指標で作られており、そういった基準を区で独自に作ることは、科学的な根拠も必要であるため、難しいと思っている。JSP0の規定した基準を横引きしてご対応いただければと考えている。屋外のスポーツ施設などには、JSP0の基準を貼りだしているところもあるが、ただ、例えば学校施設が利用されている場合等は、実際に貼り紙が正確に見える位置にあるか、また利用者の方に説明がされているかという点、まだ不十分なところもあると思うので、熱中症が始まる前に梅雨のころから、周知の方しかりとしていきたい。

#### 【区障害者団体連絡会】

調査項目について、次回の会議の時にご提示頂けるということだったので、ご配慮いただきたい点として、前回調査の時は、アンケート内容が健常者の方向けに作られているような、当然歩いて走れている方がお答えするような内容がとても多かった。今回は十年も経っているので、ご配慮いただけると思うが、障害あるなしに関わらず、高齢者の方も、多様な方の回答が拾えるような内容にしたいと思う。

### 【生涯学習スポーツ課】

いただいたご意見について、配慮した質問項目を検討する。

### 【下村委員】

このアンケートは、日本語のみで実施するのか。新宿区は、子育て世代の方でも、今非常に多くの外国の方がいらっしゃるので、他言語化についての検討をお聞きしたい。

### 【生涯学習スポーツ課】

多言語化については、調査票は日本語と英語の二か国語を用意する想定で考えている。またご案内のチラシについては、四か国語対応で考えている。調査票は、日本語か英語で読める方に協力をしていただいて回答いただければと思う。多言語展開についてはいろいろと検討をしたが、他の調査等とのバランスをとって、二か国語とさせていただいた。

### 【区スポーツ推進委員協議会】

調査対象者について、18歳以上の区民は無作為抽出ということで新宿区に住んでいる方が対象だと思うが、スポーツ団体調査の方は、企業等に所属している人も含めて調査するというのか。

### 【生涯学習スポーツ課】

スポーツ団体調査については、新宿未来創造財団に登録している団体の方に郵送をするため、代表者の方への調査になる。そのため、団体自体が在勤の方の団体ということもあるかと思う。

### 【区スポーツ推進委員協議会】

在住だけではなく、在勤の方のニーズも汲み取れるのであれば良いと思う。また先ほど藤原委員のご意見のとおり、障害の方などの多様な方のニーズも汲むような形にすることは賛成である。

### 【区中学校 PTA 協議会】

誰もが使いやすい施設の整備充実という基本政策のところについて、先日試合会場になった私立の中学校は、テニスコートが10面あり、施設が充実していた。現在、区立中学校は、レガス新宿で一般区民に時間外や夜間に貸し出しをしているが、そういった私立の豊富な資源についても、区民に解放していただけると、活動の場が広がるのではないかと思う。

### 【生涯学習スポーツ課】

確かに区有施設には限りがあるため、学校施設の活用を行うほか、民間企業や大学との連携というところでは、上智大学の真田堀グラウンドや企業のグラウンド等の相互利用、都立山吹高校のプールの貸し出しがある。都心部では、学校施設は非常に重要な施設であるため、今後もそういった理解が得られる機会があれば、学校施設の使用しない時間帯の活用については、協議、検討していきたいと考えている。

### 【区中学校 PTA 協議会】

現在、私立学校や大学、企業などに、活用させていただくことについては区のほうで動かれているということか。その場合、それはどちらから話が出てきたのか。

### 【生涯学習スポーツ課長】

すべて網羅はしていないが、先ほど申し上げた上智大学や、大日本印刷等、いくつかの企業さんとはそういった話をさせていただいている。話の経緯については、今手元に資料がないため詳細は分からないが、このスポーツ環境整備方針の中にも事業者等との連携という項目があるので、そういった働きかけをしていくなかで、現状の利用ができていと認識している。

### 【区町会連合会】

前回の調査では、地域センターが入っていたが、今回の調査では地域センターは対象にならないのか。

### 【生涯学習スポーツ課】

地域センターの利用者は、スポーツ目的とは限らないため、今回調査の対象から外した。一方で、今回は大久保スポーツプラザや四谷スポーツスクエアなど、新たにできた施設も入れている。施設としては、スポーツ施設に特化した形での調査を実施したいと考えている。

### 【区中学校 PTA 協議会】

地スポについて質問したい。本年度、新宿西戸山中学校も地スポに入っているが、仕組みが難しくなり、断念せざるを得ないものもあったのだが、地域スポーツ振興は今後のあり方としてどういう形を目指しているのかを教えてください。

### 【生涯学習スポーツ課】

地域スポーツ文化協議会については、中学校区を中心に、例えば四谷では6団体、新宿西戸山も6団体が活動されている。これについては、新宿未来創造財団を通して補助金という形で運営の支援をさせていただいている。現状として、活動について、こう変えてほしいとか、そういったものが具体的にあるわけではない。例えば総合型地域スポーツクラブについても、今のところ新宿区では一団体しかないが、地域スポーツ文化協議会を総合型地域スポーツクラブに移行して行くことを進めているということもなく、引き続き各学校施設を活用して、地域の皆さん、大人も子どもも参加できるようなスポーツクラブとして運営していただければと思っている。

### 【学識経験者コメント】

スポーツの定義を幅広く捉えるという点は非常に良いことだと感じている。調査との兼ね合いにもなると思うが、この定義に沿った形で、調査の項目が広げられるような設計にしていくと良いと思う。それから基本政策、あるいは政策の方向性についても、多様な政策を立てて行くということで、特に、環境ということ 키워ドと考えると、物理的な環境のみならず、情報の環境さらに、人や組織の仕組みを考えた社会環境というものを設定しているという点で、まさにこの会議におけるスポーツ環境を整



備していく上では非常に良いと思う。それぞれがバラバラに整備されていくことのないように、しっかりとお互いの政策の部分が組み合わさって展開される、そのような方針で進めていただけるといいのかなと感じた。また、調査項目については先ほど障害のある方や高齢者の方への配慮というご意見もあったが、その対応はもちろんであるが、もう一つは、前回調査のデータもせっかく残っているので、基本方針にあるとおり、経年変化を見ていくこと、新宿区のこの10年間の取り組みが、どのように区民に影響を与えているのかということを図る上でも、経年変化を追うというような視点も忘れないでいただきたいと感じた。調査内容の細かな部分については次回ということなので、また次回にコメントさせていただきたい。

#### **(5) その他 次第5**

特になし

#### **(6) 閉会**

#### **事務局から連絡**

次回のスポーツ会議は7月4日（火）午前10時からを予定。

今回は、調査項目を具体的に検討していただく予定になっている。開催通知等は改めて送付する。